

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

千本小	学校	児童数	49
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	^{20m} シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	17.52	20.83	28.39	40.43	47.26	9.16	154.13	20.26	52.73
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	17.25	18.24	31.44	39.56	38.94	9.73	145.82	12.18	53.40
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

今年度の体力合計点は、男女共に全国平均には及ばなかったものの、大阪市平均より男子+1.17P、女子+0.82Pとなり、昨年度より改善された。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に対する肯定的な回答割合は、男子87.0%、女子63.2%と大阪市平均（男子74.3%、女子54.5%）、全国平均（男子72.7%、女子54.1%）を大幅に超えた。特に女子の改善率が高かった。

質問項目「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」の肯定的な回答割合は、男子が13%で、大阪市平均11.7%、全国平均9.8%より高かった。一方女子は16.7%で、大阪市平均20%、全国平均17.3%より低く、昨年度よりも改善したものの、男女に差が出た。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育委員会を中心に毎年なわとび週間、かけ足週間など様々な運動に親しむ機会を設定している。また、運動場の芝生や校庭を管理し、屋外で身体を動かしやすい環境を整えている。そのため、休み時間には暑さ寒さに関係なく、外で遊ぶ児童が多い。

今年度は質問項目の運動やスポーツに対する肯定的な回答が多かった。今後も体育の実技研修会の実施、中学校の体育連携教員から指導方法を学ぶ機会を得ることで、身体を動かすことの楽しさや課題を達成したときの喜びを感じるような授業を展開していくようにする。

授業以外での総運動時間は、男子は昨年度より増えたが、女子は依然として少ない。毎年男女差が出るのは、土日の習い事や遊び方の違いが主な要因だと考えられる。

今後としては、学校での取り組みを継続しつつ、簡単に実践できる運動や西成区の体育的なイベントを紹介し、授業以外でも身体を動かす機会が増えるよう、情報提供をしていく。